



みなさんこんにちは！社会教育士の「S」です。今回は、令和8年4月に開校した道内最大級の義務教育学校「砂川学園」の児童生徒会長である河野さんにインタビューし、今の学校の様子や未来への想いについて伺いました。



●自己紹介と今の学校生活について教えてください。



砂川学園9年生児童生徒会長河野 かわの まさなり 雅哉です。部活ではソフトテニス部の部長を兼任しています。今は中体連に向けて毎日練習に打ち込んでいます。最近は学校で、数学の橋本先生のキメポーズが流行っていて、それを見るたびにみんなで笑い合っています。休み時間には友達と8・9年生フロアの共有スペースで話したり、体育館で過ごしたりする時間が何よりも楽しみです。



●学校が統合され、大変だったことや実際に生活してみてもの率直な感想を教えてください。

まずは開校式での児童生徒会長としての挨拶が緊張しました。実際に学校が始まると、校舎は広いし人数も多くて最初は圧倒されましたが、新しい友達や出会いが増えたのは本当に良かったです。ただ、児童生徒会役員に6年生も加わり、行事の内容も中学生向けで考えると難しすぎるので、みんなが楽しめるように調整するのが難しいです。中学生だけでは違う大変さがあるなと感じています。



●開校1年目を迎えた今、これからの砂川学園にどのような願いを込めていますか？

開校したばかりの今だからこそ、僕たち自身でこの学校の新しい伝統を作っていきたいと考えています。先日の体育祭やこれからの学園祭といった行事も、その第一歩です。そして後輩のみんなには、どんな活動にも自分から積極的に挑戦してほしいと願っています。そして10年後、児童生徒が何事にも主体的に取り組む姿が、砂川学園の誇りある伝統として根付いていたら嬉しいです！



●砂川市民の皆さんへメッセージをお願いします！

今年新たに中学校と小学校、両方が統合して砂川学園が開校しました。義務教育学校では道内最大級なので、大きな校舎で設備が整った環境で、僕たちは授業や行事に楽しく取り組んでいます。開校1年目なので、いろいろ初めてのことばかりですが、全校児童生徒で協力して盛り上げていきたいです。

